

米谷出張所だより

米谷出張所は、岩手県境から分流施設上流までの北上川を管理しています。
ここでは、出張所管内での様々な活動をお知らせいたします。

〈平成28年9月1日〉

トピック 1

－ 災害は、忘れたところに、忘れたところへやってくる －
9月は台風などの大雨による被害に注意してください!!

先月の22日～23日には台風9号が、30日には台風10号が上陸し、北海道、東北、関東で河川の越水や堤防決壊により、家屋への浸水や人的被害が発生しています。また記憶の新しいところでは、昨年(平成27年)9月の関東・東北豪雨により鬼怒川(茨城県常総市)や鳴瀬川の支川・渋井川(大崎市)等において、越水や堤防決壊が発生するなど、全国各地で浸水被害が発生しています。登米市を流れる北上川では、たまたま堤防を越えたり決壊したりする洪水被害は長い間発生しておりませんが、近年では雨の降り方が局地化・集中化・激甚化しており、全国どこでも同様の豪雨被害が発生してもおかしくない状況です。

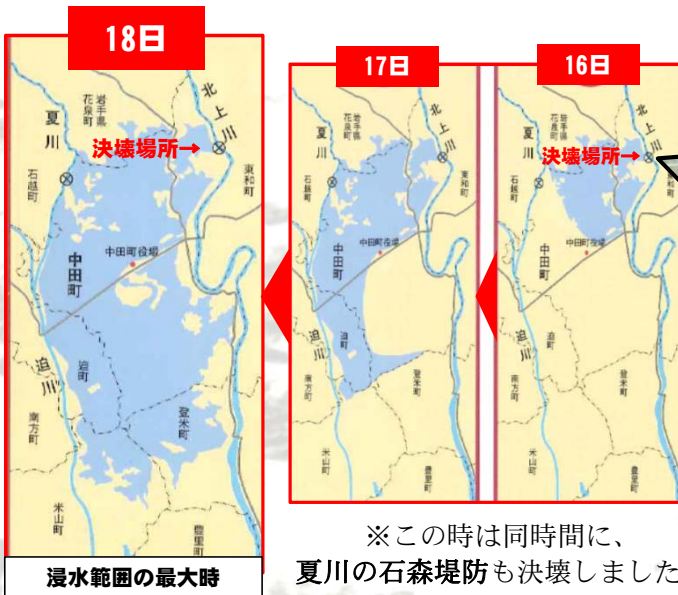
今から69年前の昭和22年9月には、カスリン台風の接近に伴う断続的な雨により、登米市中田町の大泉堤防が決壊し、北上川の濁流が中田町を駆け抜け、約15km下流の登米町や迫町、米山町までの一帯に広がり、死者15人、浸水家屋5908戸、全半壊408棟、流失家屋271棟の大きな被害となりました。

この未曾有の災害を忘れないため、大泉堤防の決壊した地点に災害復旧の様子などが刻まれた「大泉堤防之由縁」という石碑が昭和23年に建てられました。この碑はまさに、北上川の洪水と闘ってきた歴史の1つであり、災害を忘れてはいけないと思わせてくれるもので、防災意識の高揚とともに後世にも伝えていきたいものです。

－ 昭和22年9月 カスリン台風の経路図 －



－ 昭和22年9月 カスリン台風による浸水実績の経過 －



－ 石碑「大泉堤防之由縁」 －



トピック 2 堤防決壊などの大規模浸水被害に備えた減災の取り組みを進めていきます。

8月23日(火)に第2回北上川下流大規模氾濫時の減災対策協議会が石巻市遊学館で開催されました。

本協議会は平成27年9月関東・東北豪雨により鬼怒川、鳴瀬川等において大規模な浸水被害が発生したことを踏まえ、北上川下流域においても、堤防の決壊や越水等に伴う大規模な浸水被害に備え、隣接する市町(石巻市・栗原市・登米市・涌谷町)、宮城県、国等が連携して減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策

を一体的かつ計画的に推進するための協議・情報共有を行うことを目的に今年6月に設立されました。

今回の協議会では、平成32年度までの5年間に市町、県、国等が連携して減災に向けた目標を共有し、ハード・ソフト両面の対策を一体的かつ計画的に進める取組方針を決定しました。以下に実施する取組の一部を紹介いたします。

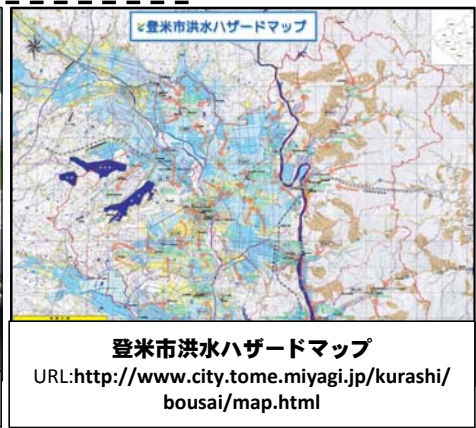


- ハード対策 -

- **洪水を安全に流すためのハード対策**
 - 堤防整備
 - 河道掘削
 - 堤防の浸透対策
- **危機管理型ハード対策**
 - 堤防天端の保護、堤防裏法尻の補強
- **避難行動、水防活動等に資する基盤等整備**
 - 簡易アラート装置の検討
 - 水位計、CCTV等の基盤整備
 - 氾濫危険水位等の現地表示

- ソフト対策 -

- **洪水時等の速やかな情報伝達及び避難計画等に資する取組**
 - 避難勧告等の発令基準の見直し
 - 想定最大規模降雨による浸水想定区域図等の公表
 - ハザードマップの作成・周知
- **平時における住民等への周知・防災教育・訓練に関する取組**
 - 小中学校等における出前講座等を活用した防災講習会等の実施
- **より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組**
 - 重要水防箇所の合同巡視



河川の水位・雨量をテレビのデータ放送で見ることができます！！



河川水位・雨量の画面

- ① チャンネルをNHK総合3にしてdボタンを押す
 - ② 「防災・生活情報」を選択
 - ③ 「河川水位・雨量」を選択
- ・・・この3操作で簡単に見ることができます！

★インターネットの「川の防災情報」もご活用ください★
<http://www.river.go.jp/> または

国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所 米谷出張所

〒987-0902 宮城県登米市東和町米谷字古館5-4 TEL 0220(42)2211 FAX 0220(42)2249

北上川下流河川事務所ホームページ URL : <http://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/index.html>

